

令和7年第1回

大河原町議会定例会（3月会議）

総括質疑

大河原町議会

令和7年第1回大河原町議会定例会（3月会議）

総括質疑

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1番	万波孝子	<p><b>1. 生活応援策について</b></p> <p>物価高騰が止まる気配がない。帝国データバンクの発表では3月食料品値上げは2,343品で、前年の3倍に上がり、2025年累計の値上げ品目数は、早くも1万品超になり、生産コストの上昇が企業利益に影響し、価格転嫁が避けられない状況になっていると分析している。</p> <p>物価高騰が町民生活や経営を圧迫し悲鳴が上がっている。生活支援や事業者支援を求められる声が切実に出されている。どう応えていくのか以下、伺う。</p> <p>(1) 物価高騰による影響で税や公共料金を滞納せざるを得ない町民や事業者が増えているのか状況について。町民の生活は一段と厳しく、経営悪化、事業閉鎖、倒産等、町内事業所の状況をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 生活支援や事業者支援を求める声が多く出されている。どのように応えていくのか。</p> <p>(3) 近隣自治体では既に物価対策と地元商店街活性化事業として「生活応援商品券」等を配布している。本町も検討していると聞いているが「桜まつり」の準備のため後回しになっているとの事。事実と受け止めていいのか。 だとすれば生活支援を今か今かと期待して待っている町民に「実施します。待って下さい。」と広報で知らせるべきではないか伺う。</p> <p><b>2. 職員による不祥事について</b></p> <p>上下水道課と福祉課に所属する職員による不祥事は、本来あってはならない許されぬ行為であると同時に早めに見抜けなかったチェック体制にも町民から厳しい目が向けられている。</p> <p>(1) 3月3日の本会議冒頭において町長から不祥事に対して陳謝の言葉があった。町民に対し、再発防止策を示しながら広報紙などで陳謝すべきではないか。</p> <p>(2) 2件の不祥事から学んだ教訓は、新年度を目前に控えどのように生かされてのスタートなのか具体的に伺う。</p> <p>(3) 不祥事を起こした職員だけの問題ではないと考える。業務上悩んだ時はいち早く上司や同僚に相談できる環境作りが肝要であり日頃のコミュニケーションをどうつくっていくのか。チェック体制の強化についても伺う。</p> <p>(4) 不祥事を起こした職員は通常では考えられない行為であったことから心的ストレスも抱えていたと推測されないか。どの部署も業務は多岐にわたり複雑化し、量も増えている。ストレスを抱える職員を守るためにも庁舎内に臨床心理士等、専門士を定期的に配置することが求められていると考えるかどうか。</p> <p><b>3. 職員の増の対応について</b></p> <p>(1) 令和7年度当初における職員数は348名で、内訳は正職員206名（前年度200名）非正規の会計年度任用職員は142名（前年度132名）となっている。今まで正職員で対応していた部署が会計年度任用職員に変わった部署がある</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万波孝子	<p>のか。あるとすればその理由を示してほしい。</p> <p>(2) 休職中の職員の業務は休止する訳にはいかない。誰かが担うことになるが、穴埋めについては状況により職員増で対応しなければならないのではないのか。課全体を把握している課長との連携で必要に応じ、職員増で対応する状況になっているのか。</p> <p><b>4. 職員のための休憩所確保を</b></p> <p>(1) 勤務中、全職員がゆったりとくつろぐ時間は昼休みしかないと考える。各階毎に食事兼休憩所を整備することが求められていると考えないか。短い時間でも交替で利用できるスペースを確保することで職員同士のコミュニケーションも図られ、一石二鳥で公務員としての自覚と仲間意識を育てる空間にもなると考える。この課題に本気になって前に進めるべきではないか。(柴田町では各階毎に職員のための食事スペースを設けている)</p> <p><b>5. 学校施設のエアコン設置について</b></p> <p>小中学校特別教室等空調設備設置工事については令和6年度から令和8年度の3ヶ年で整備する計画でいるが、</p> <p>(1) これが実施されれば、小中学校各教室のエアコン設置は100%達成になるのか。</p> <p>(2) 文科省は全国の小中学校体育館のうち95%が避難場所に指定されていることから今後10年間で設置率95%まで引き上げる目標を掲げ、空調設置臨時特別交付金を創設し、学校体育館へのエアコン設置を進めるとしている。これまで断熱性の確保が補助の条件とされていたが、確保されない場合でもそのための工事を空調設置工事と合わせて実施するか、2033年度までに実施する場合でも補助の対象になるとしている。児童・生徒の熱中症対策や避難所の環境改善の観点から急務となっており、国の交付金を積極的に活用し、計画的に体育館エアコン設置事業に取り組んでいくべきと考えるがどうか伺う。</p> <p><b>6. 「生涯学習の里」構想とは</b></p> <p>施政方針の中で民俗資料収蔵室に代わる新たな施設整備については「生涯学習の里」構想を踏まえて多面的な検討・協議を進めるとともに…と述べています。</p> <p>(1) 「生涯学習の里」構想とは。</p> <p>(2) 昨年12月会議に大河原町史を語る会から「大河原町郷土資料博物館」(仮称)建設に関する請願書が提出された。委員会では採択すると結論づけたと聞く。「生涯学習の里」構想は、こうした要望に応えたものと受け止めていいのか。</p> <p>(3) 大河原町史を語る会と継続的に協議を重ねていくべきではないか。</p> <p>(4) 第7次長期総合計画に具現化されるものと考えていいのか伺う。</p> <p><b>7. 国民健康保険について</b></p> <p>(1) 国民健康保険被保険者が減少しているが、現在の被保険者数と世帯数は。非課税世帯は全体の何パーセントを占めているのか。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万 波 孝 子	<p>(2) 現在の基金残高は。被保険者1人当たり及び1世帯当たりに換算するとそれぞれの位の額になるのか。併せて滞納額と滞納者は増えているのか状況について。</p> <p>(3) 国保の都道府県化が進められ、いずれ県下同一税率になると言われているが、協議の進捗状況について。</p> <p>(4) 「高すぎる国保税」「払いたくても払えきれない」の声に応えるには再三主張している基金の一部を取り崩して税の引き下げを実施していくしかないと考えるがどうか。</p> <p><b>8. 上下水道課一部民間委託に関して</b></p> <p>令和7年4月1日から既に民間事業者に委託していた検針業務に加え、新たに窓口業務を委託し、現在の上下水道課の一部に「大河原町水道お客様センター」を開設することになった。(広報おおがわら3月号記載) 委託する業務内容の中で料金収納整理業務も担うことになっているが。</p> <p>(1) 守秘義務についてはどのように担保されているのか。契約内容について。</p> <p>(2) 地震などによる災害時には対応できるのかどうか、契約内容について。</p> <p>(3) 委託分野以外は従来どおり町職員が上下水道の業務を担っていくが、地震等により上下水道施設が被災し断水などを踏まえれば技術職員確保は一層重要であることからその体制は用意されているのか。さらに、上下水道施設の耐震化の更なる促進を図る計画を示すべきではないか。</p> <p>(4) 上下水道課の一部民間委託を機に庁舎内に更に民間委託業務に拍車がかかることを危惧するが、どうなのか。</p>